

内裤的洞 のことなど

パンツの穴

日本語で幼なじみのことを「竹馬の友」といいますが、中国には“开裆裤朋友（股割れズボンの友）”という言い方があります。“青梅竹马”という言葉もありますが、これは主に男女の間で使うのでちょっとニュアンスが違います。

“开裆裤（股割れズボン）”を初めて目にする外国人はちょっと驚くかもしれませんね。日本にもおむつの取り替えに便利な赤ちゃん用の股割れズボンがありますが、割れた部分はスナップ等で留めるようになっています。“开裆裤”は割れた部分はそのままなので、赤ちゃんのおしりが丸見えなのです。

現在、特に都市部では衛生面を考慮して、ほとんど“开裆裤”は見られなくなりました。穿いていたとしても、中に紙おむつをしていることが多く、おしり丸見えは少なくなりました。使い捨て紙おむつの普及率は25%とも言われています。特に、日本製の紙おむつが人気だそうで、“双十一（11/11、独身の日のバーゲンセール）”では相当の売れ筋だったようです。空港でも、帰国するチェックインの行列に紙おむつの包みを持った中国人の姿が多く見られるようになりました。ただし値段は高いです。あるメーカーの紙おむつは、日本国内では1枚当たり約20円で販売されていますが、中国では約2.3元（約36円）売られているそうです。

実は、“开裆裤”にはいいところがたくさんあるんですよ。前に書いたように衛生面の問題と、冬場はおしりが寒い、という難点があります。でも、品質の悪いおむつによるかぶれがないこと、トイレトレーニングがとてもスムーズでおむつ外れが早いこと、外出するときに換えのおむつを持ち歩かなくていいこと、ゴミが出ないので環境にやさしいこと等々。それから、布おむつを使う場合洗濯がたいへんですが、その心配もありません。ほんとうに合理的です。紙おむつがまだまだ高値であることも考え合わせると、“开裆裤”は現在でも案外使われているのではないのでしょうか。なにせ、中国人にとって股割れズボンの歴史は長いですから。外出の時は紙おむつ、家でくつろいでいる時やトイレトレーニングの時は従来通り“开裆裤”と使い分ければ、とても便利ですね。

さて、今回話題になるのは、パンツの穴。登場するのは、お馴染み『西遊記』の“唐僧（三蔵法師）”と“孙悟空（孫悟空）”です。“唐僧”は志の高い立派な僧ですが、繊細で優しすぎ、少々頼りないキャラクター。日本のドラマでは女優が演じることが多いです。“孙悟空”の方は、傍若無人で野性味にあふれていますが、心の底では三蔵法師を尊敬し慕っています。ここでの“唐僧”と“孙悟空”のやり取り、世話焼きの母親と構わないでほしい息子みたいじゃありませんか？ 何だか心和みますね。

唐僧¹是个细心的人，
这天，他整理孙悟空²的内裤，
发现有个洞，然后就耐心地缝了起来；
第二天发现又有个洞，于是又补了起来；
三天依旧还是有个洞，正当他拿起针线时，
猴哥³过来，一把抢过内裤，扯着嗓子⁴吼：
你告诉我 尾巴搁⁵哪儿？ 搁哪儿？ 搁哪儿！

这个故事告诉我们，你默默的付出，其实，并不是
所有人都能接受。

所以，有效沟通很重要！

- 1 唐僧 Tāngsēng：玄奘三蔵。『西遊記』の登場人物としてこう呼ばれる
- 2 孙悟空 Sūnwùkōng：孫悟空『西遊記』の主人公
- 3 猴哥 hóugē：孫悟空の愛称
- 4 扯嗓子 chě sāngzi：声を張り上げる
- 5 搁 gē：置く。入れる



三蔵法師は、心細やかな人である。
ある日、孫悟空のパンツを片付けていて穴が空いているのに気付いたので、丁寧に縫ってあげた。
翌日、また穴が空いていたので繕っておいた。
さらに次の日やはり穴が空いているので、針と糸を取り出したところ悟空がやってきて、声を張り上げて叫んだ。
「しっぽ、しっぽ、しっぽ！ しっぽをどうすればいいって言うんだ？」
よかれと思ってそっとやってあげたことも、必ずしもその人のためになるとは限りません。まずはコミュニケーションが大切（笑）！